

遥かなる メソポタミア

2014. 7/8 Tue
~ 8/31 Sun



土偶 (紀元前 5500 年頃)
古代オリエント博物館 / 個人蔵

ヒトはどのような生き、
どこに向かうのか。
その営みと叡智を探る旅に出よう。



— 時空を超えたヒトの営み —

ハンムラビ法典碑 (レプリカ)
(紀元前 1792-1750 年)
古代オリエント博物館蔵

開館時間

午前9時30分~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日

毎週月曜日 (ただし 7/21 は開館し、7/22 が休館)

入館料

一般 600 円、65 歳以上・高校生・大学生 400 円
※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者 1 名は無料 / 20 名以上の団体は 2 割引き



大阪府立弥生文化博物館
Museum of Yayoi Culture
〒594-0083 大阪府和泉市池上町4-8-27
TEL.0725-46-2162 <http://www.kanku-city.or.jp/yayoi/>

関連
講演会

場所：弥生文化博物館1階ホール
参加費：無料（ただし、入館料が必要です）
定員：170名
（当日先着順。開館時より整理券付付・開始30分前から受付）

7/12 (土) 14:00 ~ 16:00 考古学セミナー

「時の積層 - シリアでテルを掘る -」
下釜和也氏（古代オリエント博物館・研究員）

7/19 (土) 14:00 ~ 16:30 愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター 研究報告会

古代ユーラシア大陸のアイアン・ロード - 鉄の歴史を探る -

- 「ユーラシアにおける鉄の起源と伝播」
村上恭通氏（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・センター長）
- 「トルコ・カマンカレホック発掘調査参加記 - 最古の鉄との遭遇 -」
横林啓介氏（愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター・講師）
- 「匈奴と鉄 - モンゴルの発掘成果を中心に -」
笹田朋孝氏（愛媛大学法文学部・准教授）
- 「中国漢代の製鉄遺跡を掘る - 蜀の遺跡を中心に -」
村上恭通氏

7/26 (土) 14:00 ~ 16:00 日本西アジア考古学会 特別講演会

「メソポタミアへの再接近 - 遺跡調査の現場から -」
小高敬寛氏（東京大学総合研究博物館・特任研究員）

8/9 (土) 12:30 ~ 16:00 メソポタミア展 開催記念講演会&ミニシンポジウム

古代オリエント - その叡智と文化 -

- 「ハンムラビ法典作成の目的とその現代的意義」
中田一郎氏（古代オリエント博物館・館長、中央大学・名誉教授）
- 「トルコ・キュルテベ遺跡の世界遺産登録に向けて」
紺谷亮一氏（ノートルダム清心女子大学・教授）
- 「シリア・バルミラの死生観」
西藤清秀氏（奈良県立橿原考古学研究所・技術アドバイザー）

学芸員による展示解説

7月12日（土）、26日（土）、8月2日（土）、24日（日）
※特別展示室において、午前11時より約1時間。

体験イベント

8月3日（日）、23日（土）、24日（日）各日とも10:00 ~ 15:00
◎シリアの民族衣装をきてみよう！
◎土器パズル初の競演！オリエントの彩文土器と弥生土器

遙かなる メソポタミア

2014. 7/8 Tue
~ 8/31 Sun



旅立とう！
紀元前の
メソポタミアへ！

スタンプ印章印影
古代オリエント博物館蔵



粘土で封をした壺（復元）
古代オリエント博物館蔵

— 時空を超えたヒトの営み —

解説！楔形文字

いまから4000年くらい前、
ウンマに住んでいた？
ニババさんが
受け取ったもの。



粘土板文書 ウンマ遺跡（イラク）
（紀元前2035年）
古代オリエント博物館蔵

3シラの上等のビール
2シラのパン
2ギンの植物
2ギンの油
1匹の魚
一束の玉ねぎ

※1シラは約1リットル、1ギンは約8グラム。